

「市長と語ろう未来の太宰府・ふれあい懇談会」(会議録)

行政区 つつじヶ丘区

日 時 平成 21 年 11 月 24 日(火) 19:00 ~ 20:32

場 所 つつじヶ丘公民館

出席者 (市 民) 35 人
(執行部) 15 人

井上市長、平島副市長、木村総務部長、三笠協働のまち推進担当部長、松田市民生活部長、松永健康福祉部長、新納建設経済部長、宮原上下水道部長併会計管理者、山田教育部長、松島議会事務局長

(事務局) 今泉経営企画課長、齋藤広聴広報係長、高原主任主査、諫山協働のまち推進課長、藤田地域コミュニティ推進係長

会議内容 (進行：今泉経営企画課長)

- 1 開会あいさつ(経営企画課長) 19:00 ~
- 2 区自治会長あいさつ(区自治会長) 19:02 ~
- 3 市長あいさつ(市長) 19:04 ~
- 4 市職員自己紹介(経営企画課長) 19:10 ~
- 5 「協働のまちづくり」について(協働のまち推進担当部長) 19:14 ~
- 6 「懇談」質疑・意見交換(経営企画課長) 19:29 ~
(別紙)
- 7 閉会あいさつ(副市長) 20:27 ~ 20:32

	発言の主旨	回答
意見 1	<p>安全安心のまちづくりについて。各校区協議会で危険箇所、災害発生場所などのマップを作成し、住民に配布してはどうか。どこをどうすればよいか、安全安心のまちづくりについての長期の展望が開けるのではないか。皆が知ることが大切である。各区協議会で纏まれば大変ありがたい。各校区協議会に、青パトを毎年1台程順次配備できないか。特に学校の登下校など重点的な見守りが可能になる。</p>	<p>(市長)</p> <p>ご提言のとおりと思います。危険箇所、避難箇所のマップづくりは行っています。壁に貼るものは配布していると思います。災害危険箇所と同時に避難場所について、住民の皆さんと共有しておくことが大切だと思っています。絶えず危機管理が一番大切と思います。平成15年の災害で約100億近くかけて砂防ダムなどを整備しました。自治会のよさは、住民の皆さんが危険箇所を一同に知ることが大事です。連歌屋、国分、三条などでは、ワークショップを行いました。自治会、協議会の中でそのようなことが行われる際は、市は支援したいと思います。第2、第4金曜日は筑紫地区全般的にパトロールを行っています。そのことから犯罪の発生件数が減ってきております。青パトについて、ライオンズクラブから2台寄贈の申し出がっております。今年度中には配車できるのではと思っています。行く行くは小学校区の協議会に配置していきたいと思います。大佐野自治会は、独自に所有、活用されています。各自治会に交付している補助金の使い方は、自治会で決定していただいています。独自のまちづくりのために使用していただければと思います。</p>

<p>意見 2</p>	<p>10年～20年後の将来、来るべき少子高齢化社会を見据えて。市は歴史と文化のまち、学園都市、住宅都市である。企業誘致等は難しいであろうが、財政状況が厳しい中、市はどのようなブランドデザインを描いているのか。また、市は全国的に有名な観光都市でもある。まちの発展の中で、若い人が住みたくなるまちづくりをお願いしたい。</p>	<p>(市長)</p> <p>ご指摘のような状況があると思います。2055年には人口減少がいられています。そのような状況を見越してのまちづくり、今現在の取り組みが大切と思います。高齢者支援も大事ですが、併せて子育て支援も必要です。子育て支援については、待機児童の解消などの取り組みや3人目以降の保育料金の無料化などを行っています。</p> <p>【画面説明】</p> <p>太宰府市の将来像、史跡地、まるごと博物館構想(まちぐるみ歴史公園)、水城周辺整備事業、歴史と文化の環境税</p>
	<p>まほろば号について。デマンドタクシーなども検討してはどうか。高齢者は大変助かっているが、地形的に山があり、つつじヶ丘区は全体の1/3から2/5ぐらいしかバスが網羅されていない。小型バスや福祉タクシーも早急に検討してはどうか。</p>	<p>(市長)</p> <p>当初からまほろば号のコースが問題でした。まず幹線道路だけを回ることで発足しました。その後、高齢化率が高くなり、高齢者の外出支援は力を入れて行っております。結論としましては、今すぐは難しくても検討したいと思います。先行例としては、東観世団地のマミーズまほろば号があります。デマンドタクシー、NPOへの委託、ベロタクシーなど色々な手法があり、比較検討を行っており、近いうち結論が出たら公表していきたいと思います。</p>
	<p>水道料金の値下げについて、早急に市長のリーダーシップを発揮して実現してほしい。</p>	<p>(市長)</p> <p>現在、審議会に諮っております。約束を実行したいと思います。一番利用が多い所の料金を値下げしたいと思います。</p> <p>(上下水道部長)</p> <p>11月2日から審議会に諮問しています。20㎡の世帯は、昭和50年代が一番高かったものが現在15番目となりそ</p>

		<p>れを25番目ぐらいになるように引き下げを諮問しています。給水収益が赤字とならぬように家庭用料金を引き下げ、大口の料金を引き上げる手法で検討いただいています。1月に答申をいただき、3月議会に提案し、平成22年10月に新料金体系になる予定で改正する予定です。今しばらくお待ちください。</p>
意見3	<p>団地の中に傾斜があるので、高架水槽があるが、この清掃はどうなっているのか。</p>	<p>(上下水道部長)</p> <p>高架水槽については、昭和58年3月に西部都市開発から移管されています。市に高架水槽が8箇所あります。大佐野浄水場にも配水地があります。ご心配の点ですが、定期的に高架水槽の中を清掃しています。つつじヶ丘の高架水槽は、平成18年8月3日に定期清掃しております。特殊な技術で、潜水夫が塩素滅菌消毒して、特殊な掃除機で行っています。5年に一度行っています。</p>
意見4	<p>清掃は5年に一度でいいのか。法的にはどうなっているのか。専用水道やマンションは、20t以上は1年に1回となっている。</p>	<p>(上下水道部長)</p> <p>生活水道は1年に1回となっているが、高架水槽は、何年に1度という規程基準はありません。太宰府市は、他団体と恐らく同様の期間と思われる。</p>
	<p>水道業界の人に聞いたが、1年に1回が難しいとしたら、せめて3年に1回は実施してほしい。</p>	<p>(上下水道部長)</p> <p>ご意見を参考にさせていただきます。他団体も調査しまして、基準の点検をしたいと思います。</p>
意見5	<p>確認事項。国立博物館の開館と併せて、JR太宰府駅をアクセスとして建設されると聞いていたが、立ち消えとなった。現在の状況は。するのかしないのか聞きたい。</p>	<p>(市長)</p> <p>これは、マニフェストのひとつでもございました。「佐野東地区のまちづくりの核として位置づけ、平成20年度までに見通しを付ける」としていました。始めに駅ありきでなく、地元の皆さん方の意向であるとか面的整備を含めた</p>

		<p>太宰府全体としてどのように位置づけることから始める必要があると思っています。現在の進捗状況は、地元の地権者あるいは自治会長を含めた協議機関を設けるべくやっておる状況です。駅の鳥瞰図は描いております。平成 2 年に J R 本社との覚書があります。都府楼南駅開設の際に、市はもうひとつ必要と要望していました。市が全体的なまちづくりを行った場合、太宰府駅を造る協力をしてほしいとの協定になっています。国立博物館開設の際、試みましたが、請願駅は 100%市の持ち出しとの割合を把握していませんでした。県からの指摘などもあり、J R と再協議したような経緯もあります。全体的見ると、区画整理といったような手法が必要になりますので、何十億といった費用が必要になります。私が議会でも申し上げているのは、区画整理は組合施工を考えています。佐野区画整理事業により、歳入も微増を続け、向佐野地域は高齢化率が薄まっています。これを途絶えさせないようにするには、ご指摘の地区についてどうするかが大きなまちづくりにかかってくるものと思われます。人口減少社会であることは、常に意識して置かねばならない問題です。見極めが大切です。</p>
意見 6	<p>7月26日、集中豪雨があり、日本一の降雨量であり、つつじヶ丘区も大きな被害があった。水道局のダムの横も崩れ、今もそのままと思う。団地の中で、大佐野川がすさまじい勢いで流れてくる。ポンプ室の前の所が直角に曲がっていて、道路の下を抜け、流木が流れ</p>	<p>(市長)</p> <p>7月26日の災害は全職員に出動をかけて、それぞれ配置しました。その後大佐野の水利組合関係者との会合もありました。そのときにもご指摘がありました。同時に那珂土木にも上申しております。</p>

	<p>込んだ。同時に引っかかって6 mの擁壁の下潜り込んだ水が土砂の流出を下から吸い込んだと思われる。道路の側壁の後ろの盛土を下から吸い上げた。あまりにひどかったので、災害警戒本部に様子を見てもらった。樗の木が3本たっていたが、現在6メートルの擁壁の後ろの樗が1本落ちたままになっていて底が見えている。擁壁がコンクリートむき出しで土がないの状態である。この辺の復旧工事はどういう形で行われているか知りたい。</p>	<p>(建設経済部長)</p> <p>市の中でも災害箇所は全部で160箇所ございました。ご指摘の箇所も職員が写真を撮影しておりまして、私も見ております。出来るだけ早く復旧したいと考えておりますが、これも県の事業になりまして、福岡県土事務所に直接出向きましたが、県もかなりの被害が発生しており、手が回らない状態でした。そこで別組織、御笠川水系の協議会で新たな要望書を作り、県庁へ届けました。それでもすぐには対処できない状態でもうしばらくお待ちいただくことになっています。市としても催促していきます。ご迷惑をおかけしますが、宜しくお願いします。</p>
<p>意見7</p>	<p>遊歩道について。西部都市開発が開発したときに整備され、すでに30年県下した。遊歩道とは名ばかりで、暗く木が生い茂っている。野犬や猿も出没する。フェンスやガードレールを付けたが、環境的にも閉鎖を含め地元で協議し、開発を含めてどうするか、若干懸案として残っている。整備を含め、対応をお願いしたい。</p>	<p>(建設経済部長)</p> <p>あまり歩かれていないという感触がありました。緑地として開発業者が皆さんにプレゼントしたもので、遊歩道を造ったようです。大きな木の伐採とかフェンスが壊れたときなど市の方で行う約束を交わしていたようです。階段もかなり段差があり、躓きやすい状態で、これを整備するとかかなり予算が必要です。皆さんの考えは閉鎖してほしいという考えもお持ちとのことで、両方考える必要があります。今後連携を密にし、協議していきたいと思えます。一人でもご利用されていれば問題が起こる可能性があります。その辺を併せて調整させていただきたいと思えます。宜しくお願いします。</p>